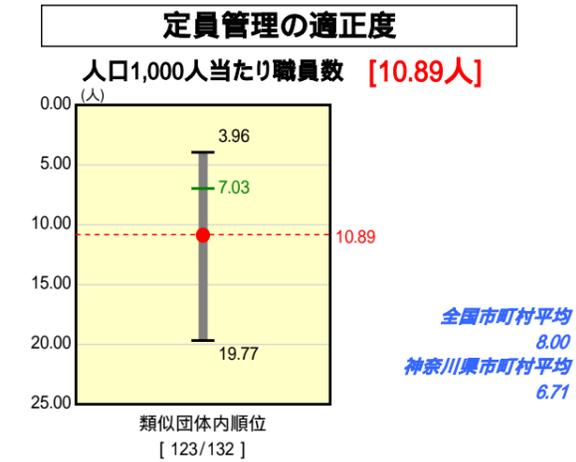
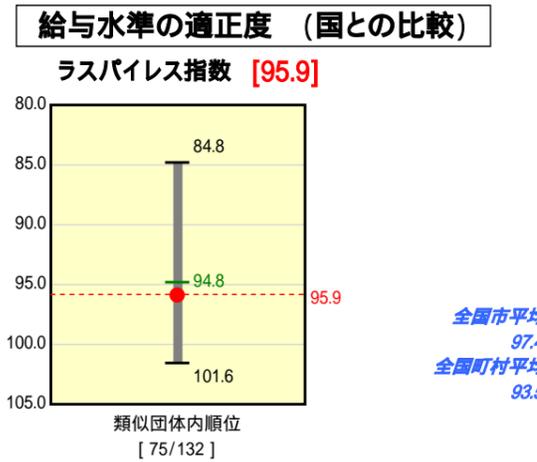
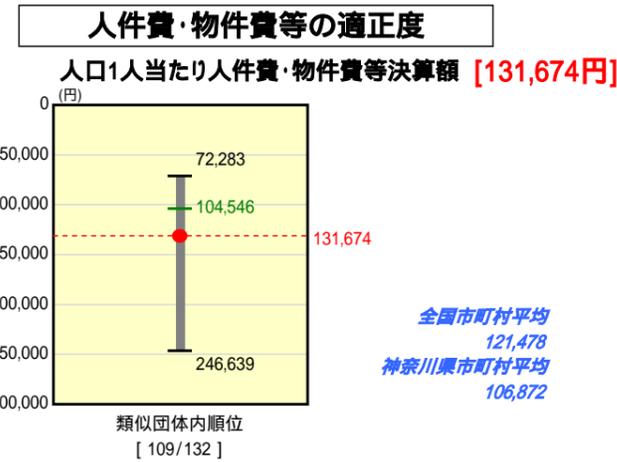
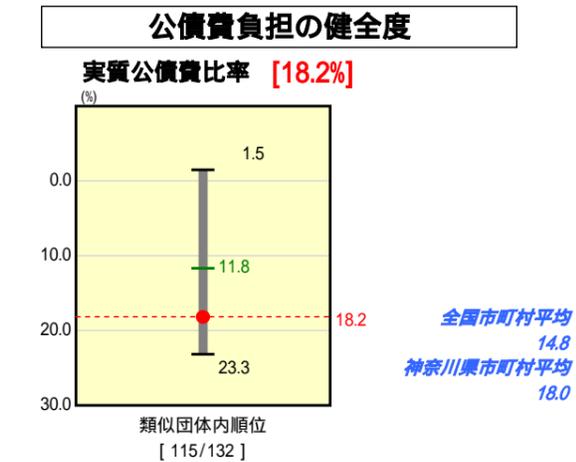
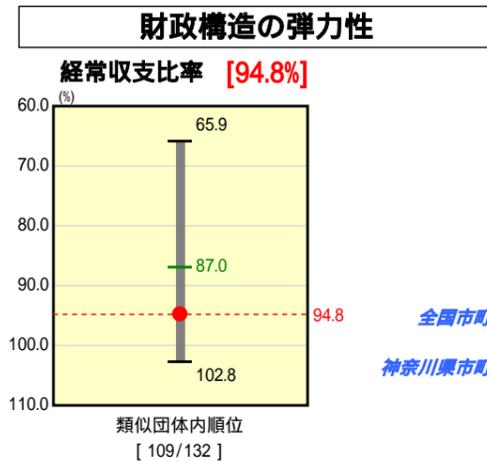
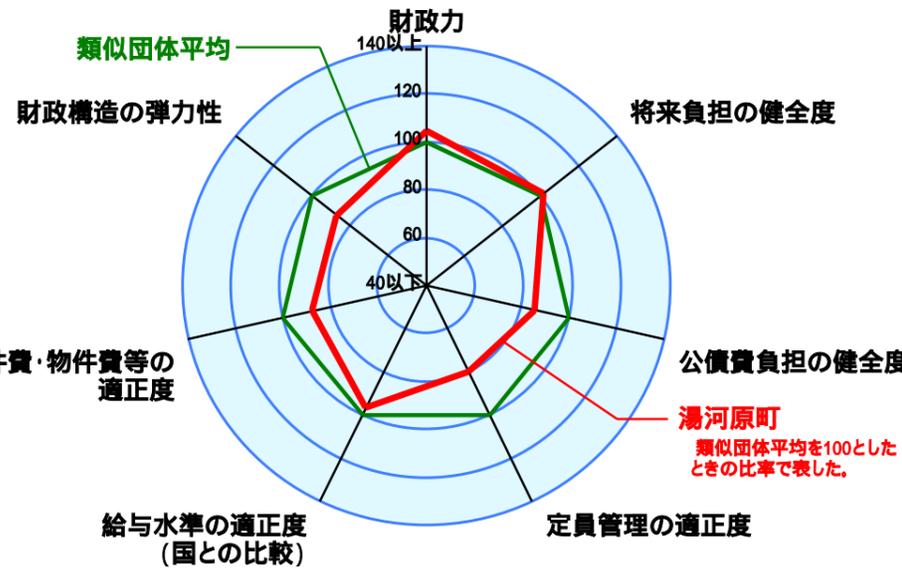
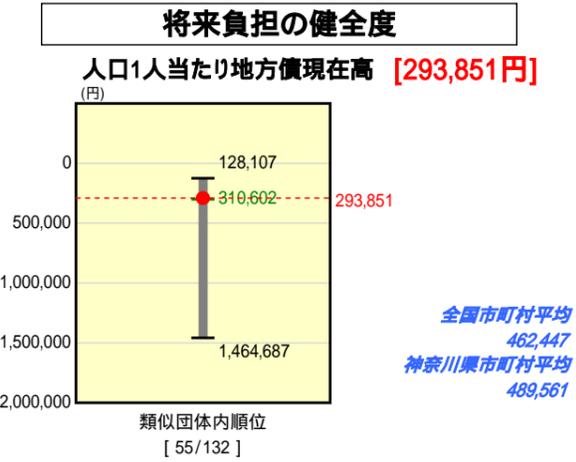
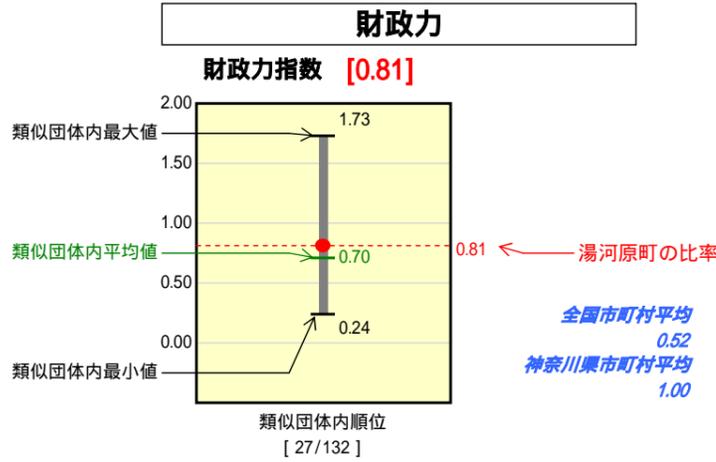


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

神奈川県 湯河原町

人口	28,004人	(H18.3.31現在)
面積	40.99	km ²
歳入総額	8,296,409	千円
歳出総額	8,046,568	千円
実質収支	249,841	千円



分析欄

【財政力指数】 類似団体平均を上回るが、町の主要産業である観光業が低迷しており、他に大きな産業がないことから、税収増がなかなか見込めない状況である。また、高齢化が進んでおり、人口も減少傾向となっている。「ゆがわら2001プラン」に沿って観光を軸とした地域経済や中心市街地の活性化に取り組み、活力あるまちづくりを展開するとともに、歳出の徹底した見直しにより行政の効率化を図り、財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】 税収の減少に伴い、財政構造の硬直化は進んでいる。歳出では、人件費、公債費が経常的経費のおよそ60%を占めていることから、定員管理、給与の適正化を一層進めるとともに、高利率の地方債の借換えを積極的に行っていく。また、税収の徴収率向上に努め、平成22年度までに90%以下にすることを目標とする。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 類似団体平均を上回るが、主に真鶴町及び熱海市泉地区を管轄とする消防職員及び町内にある5園の町立保育園の保育士の人件費が類似団体と比較して高い要因となっている。今後は、消防については広域消防の検討が行われており、その他の職員については、一層の定員管理の適正化に努めていく。

【人口1人当たり地方債現在高】 類似団体平均を下回っているものの、過去に発行した、道路、公園等の住民生活に密着した基盤整備のための地方債の償還費は、財政を大きく圧迫している。発行額については、少なくとも元金償還額を上回らないよう抑制し、地方債残高が減少するよう努め、後世への負担を軽減する。

【実質公債費比率】 類似団体平均を上回るが、これは、国体開催に伴い整備した総合運動公園及び下水道処理場建設等の負担が大きく、また、財政状況の硬直化により、予算編成上、起債に頼らざるを得ない状況が続いていることによる。今後も学校をはじめとした耐震化事業等の必要不可欠な事業が予定されており、安全対策上やむを得ない事業に限定して地方債の発行を行う。

【人口1,000人当たり職員数】 本町では隣接する市町から受託している消防・救急業務の消防部門や町立保育園が5園ある福祉部門、観光温泉地としての温泉供給事業の公営企業部門等を有しており、これらの固有な特殊事情により類似団体平均を上回っている。このため、行政改革を積極的に推進し、平成8年度から定員適正化計画に基づき、退職不補充等の職員の定員管理に取組み、平成18年度職員数は平成8年度職員数の14.0%減(57人減)という大幅な削減を達成した。第3次定員適正化計画に基づき、今後も一層の定員管理の適正化に努めていく。

【ラスパイレス指数】 町の財政状況等を勘案し、平成16年度から職員の給与抑制措置を実施し、加えて平成17年度から新たに4項目の給与抑制措置を講じたことにより、類似団体の中では、ほぼ平均的な水準にある。今後も給与構造改革の実施等により、給与の適正化に努める。